

## 既存化学物質審査シート(良分解性等・人健康影響・生態影響)

(平成21年12月18日開催)

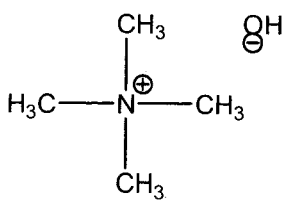
官報公示 整理番号	CAS No.	物質名称	判定結果		頁
			人健康影響	生態影響	
2-140	75-50-3	トリメチルアミン	二監相当		1
2-186	75-59-2	テトラメチルアンモニウムヒドロキシド	二監相当		3
2-1065	79-39-0	メタクリルアミド	二監相当		5
2-608	88-09-5	2-エチル酪酸	二監相当		7
3-1183	90-02-8	2-ヒドロキシベンズアルデヒド	二監相当		9
5-56	97-99-4	テトラメチルフルフリルアルコール	二監相当		11
3-2259	101-83-7	ジシクロヘキシルアミン	二監相当		13
2-235	110-63-4	1,4-ブタンジオール	二監相当		15
3-959	118-79-6	2,4,6-トリブロモフェノール	二監相当		17
3-500	123-07-9	4-エチルフェノール	二監相当		19
2-1514	126-98-7	メタクリロニトリル	二監相当		21
2-1291 2-2709	683-10-3	N,N-ジメチル-N-ドデシルグリシン	二監相当		23
2-1044	868-77-9	メタクリル酸2-ヒドロキシエチルエステル	二監相当		25
2-2583	2439-35-2	アクリル酸2-(ジメチルアミノ)エチルエステル	二監相当		27
2-1047	2867-47-2	2-(ジメチルアミノ)エチルメタクリラート	二監相当		29
2-798	111-82-0	ドデカン酸メチル		三監相当	31
2-66 2-68	111-85-3	1-クロロオクタン		三監相当	32
2-176 2-183	124-28-7	N,N-ジメチル-n-オクタデシルアミン		三監相当	33
2-814 2-827 2-2503	93-83-4	N,N-ビス(2-ヒドロキシエチル)-オレアミド		三監相当	34
2-8	111-65-9	オクタン		三監相当	35
2-27	112-41-4	1-ドデセン		三監相当	36
5-3732	52829-07-9	デカン二酸ビス(2,2,6,6-テトラメチル-4-ペリジニル)		三監相当	37

既存化学物質審査シート

官報公示 整理番号	2-140	CAS No.	75-50-3
判定案	人健康影響 第二種監視化学物質相当		
名称 構造式等	<p>名称：トリメチルアミン 分子量：59.11 分子式：C<sub>3</sub>H<sub>9</sub>N</p> <div style="text-align: center;"> </div>		
用途	-		
製造及び 輸入数量	100 t 以上		
外観	無色透明気体		
分解性	良分解性		
蓄積性	-		
Ames	<p>陰性 純度 30.8 % (水溶液). 溶媒 (注射用水-溶解). TA98, TA100, TA1535, TA1537, WP2 uvrA. 純度換算有り* 1250 μg/plate まで実施した用量設定試験試験の結果を参考に以下の濃度まで実施. (本試験 I) -S9mix 群 : 1250 μg/plate* (最高用量で菌の生育阻害) +S9mix 群 : 1250 μg/plate* (TA1535, TA1537 : 625 μg/plate 以上で菌の生育阻害) (TA100 : 最高用量で菌の生育阻害) 5000 μg/plate* (TA98 : 1250 μg/plate 以上で菌の生育阻害) (WP2uvrA : 2500 μg/plate 以上で菌の生育阻害) (本試験 II) -S9mix 群 : 1250 μg/plate* (最高用量で菌の生育阻害) +S9mix 群 : 1250 μg/plate* (TA1535, TA1537 : 625 μg/plate 以上で菌の生育阻害) (TA100 : 最高用量で菌の生育阻害) 5000 μg/plate* (TA98 : 1250 μg/plate 以上で菌の生育阻害) (WP2uvrA : 2500 μg/plate 以上で菌の生育阻害)</p>		
染色体 異常	<p>陽性 D20=0.474mg/mL (-S9mix 群 : 構造異常) ±S9mix 群において構造異常の誘発. 純度 30.8 % (水溶液). 溶媒 (生理食塩液-溶解). CHL/1U. 純度換算有り* 0.591mg/mL (10mM) まで実施した細胞増殖抑制試験の結果を参考に、以下の濃度まで実施. (本試験) -S9mix 群 : 0.591mg/mL* (10mM) +S9mix 群 : 0.591mg/mL* (50%以上細胞増殖抑制濃度) (確認試験) -S9mix 群 : 0.591mg/mL* (50%以上細胞増殖抑制濃度) +S9mix 群 : 0.591mg/mL* (50%以上細胞増殖抑制濃度)</p>		
反復投与 毒性・生 殖発生毒 性併合試 験	動物種・系統	ラット Crj:CD(SD)IGS	
	投与方法	強制経口投与 溶媒 : 局方注射用水	
	純度	30.8% (水溶液)	
	用量	3 用量 (8, 40, 200 mg/kg/day)	
	死亡	本試験 (200 : 2/13♂ 1/13♀)	

	NOEL	反復投与毒性：8 mg/kg/day 生殖発生毒性：200 mg/kg/day			
	推定根拠	反復投与毒性： 組織学的所見（精巣上体－管腔内細胞残屑：40 以上♂） 生殖発生毒性： 全群で特に毒性学的影響は認められていない			
	他の毒性	反復投与毒性： 一般状態（流涎：200♂♀、異常呼吸音：200♂） 血液生化学的検査（TP↓・Alb↓：200♂） 組織学的所見（前胃－扁平上皮過形成・粘膜びらん・潰瘍・出血・炎症性細胞浸潤・粘膜下織水腫・粘膜下織肉芽・漿膜肉芽、腺胃－粘膜びらん・出血：200♀♂、腺胃－粘膜炎症性細胞浸潤・粘膜下織水腫、精巣－精細管精母細胞/円形精子細胞変性・精細管伸長した精子細胞変性、精巣上体－管腔内精子変性/減少：200♂、腺胃－粘膜潰瘍、膈－上皮粘液細胞化：200♀） 生殖発生毒性： －			
	回復性	実施せず			
人健康影響判定根拠	Ames 試験は陰性であるが染色体異常試験は陽性であり、NOEL 8mg/kg/day であることから第二種監視化学物質相当。				
環境調査 ※1	媒体	実施年度	検体	検出範囲	検出下限値
	水質	S61	0/33	－	(3) μg/L
	底質	S61	4/27	0.13～0.63 μg/g-dry	(0.08) μg/g-dry
	魚類				
	大気	H3	1/48	150 ng/m <sup>3</sup>	(150) ng/m <sup>3</sup>
	その他				
備考	※1 S62、H4 年版「化学物質と環境」（環境省環境保健部環境安全課）				

既存化学物質審査シート

官報公示 整理番号	2-186	CAS No.	75-59-2
判定案	人健康影響 第二種監視化学物質相当		
名称 構造式等	名称：テトラメチルアンモニウムヒドロキシド 分子量：91.03 分子式：C <sub>4</sub> H <sub>13</sub> NO <div style="text-align: center;">  </div>		
用途	2-186 として中間物、溶剤、プロセス調節剤、工業用洗浄剤、接着剤用、写真・印刷等用、繊維剤、電気・電子材料、冷媒・熱媒、その他 <sup>※1</sup>		
製造及び 輸入数量	2-186 として 10,000～100,000 t 未満 <sup>※1</sup>		
外観	無色透明液体（20%水溶液）		
分解性	良分解性		
蓄積性	-		
Ames	陰性 純度 20 %（水溶液）. 溶媒（注射用水－溶解）. TA98, TA100, TA1535, TA1537, WP2 uvrA. 純度換算有り* 1250 μg/plate まで実施した用量設定試験試験の結果を参考に以下の濃度まで実施. （本試験Ⅰ） -S9mix 群：1250 μg/plate*（最高用量で菌の生育阻害） +S9mix 群：1250 μg/plate*（TA98, TA100, TA1535, TA1537 : 最高用量で菌の生育阻害） 5000 μg/plate*（WP2uvrA : 2500 μg/plate 以上で菌の生育阻害） （本試験Ⅱ） -S9mix 群：1250 μg/plate*（最高用量で菌の生育阻害） +S9mix 群：1250 μg/plate*（TA98, TA100, TA1535, TA1537 : 最高用量で菌の生育阻害） 5000 μg/plate*（WP2uvrA : 2500 μg/plate 以上で菌の生育阻害）		
染色体 異常	陰性 純度 20 %（水溶液）. 溶媒（注射用水－溶解）. CHL/IU. 純度換算有り* 0.91mg/mL（10mM）まで実施した細胞増殖抑制試験の結果を参考に、以下の濃度まで実施. -S9mix 群：0.91mg/mL*（10mM） +S9mix 群：0.91mg/mL*（10mM） 24 時間処理群：0.91mg/mL*（10mM）		
28 日間 反復投与	動物種・系統	ラット Crj:CD(SD)IGS	
	投与方法	強制経口投与 溶媒：局方注射用水	
	純度	20.19%（水溶液）	
	用量	3 用量（5, 10, 20 mg/kg/day）	
	死亡	なし	
	NOEL	5 mg/kg/day 未満	
	推定根拠	一般状態（流涎：5 以上♂10 以上♀） 絶対重量（心臓↓：5 以上♂）	
	他の毒性	相対重量（心臓↓：10 以上♂）	
回復性	問題なし		

	備考	予備試験（急性経口投与毒性試験）において 50 及び 100mg/kg の全例で間代性癌變が認められた。
人健康影響判定根拠		Ames 試験及び染色体異常試験は陰性であり、NOEL 5mg/kg/day 未満であることから第二種監視化学物質相当。
備考		※1 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査（平成19年実績）

既存化学物質審査シート

官報公示 整理番号	2-1065	CAS No.	79-39-0
判定案	人健康影響 第二種監視化学物質相当		
名称 構造式等	名称：メタクリルアミド 分子量：85.11 分子式：C <sub>4</sub> H <sub>7</sub> NO <div style="text-align: center;"> </div>		
用途	-		
製造及び 輸入数量	100 t 以上		
外観	白色結晶		
分解性	良分解性		
蓄積性	-		
Ames	陰性 純度 ≥99.5 %，溶媒（注射用水-溶解）. TA98, TA100, TA1535, TA1537, WP2 uvrA. 5000 μg/plate まで実施した用量設定試験の結果を参考に以下の濃度まで実施。 （本試験Ⅰ） - S9mix 群：5000 μg/plate + S9mix 群：5000 μg/plate （本試験Ⅱ） - S9mix 群：5000 μg/plate + S9mix 群：5000 μg/plate		
染色体 異常	陰性 純度 ≥99.5 %，溶媒（注射用水-溶解）. CHL/IU. 0.90mg/mL (10mM) まで実施した細胞増殖抑制試験の結果を参考に、以下の濃度まで実施。 - S9mix 群：0.90mg/mL (10mM) + S9mix 群：0.90mg/mL (10mM) 24 時間処理群：0.90mg/mL (10mM) 48 時間処理群：0.90mg/mL (10mM)		
28 日間 反復投与	動物種・系統	ラット Crj:CD(SD)IGS	
	投与方法	強制経口投与 溶媒：局方精製水	
	純度	99.5%	
	用量	3 用量 (30, 100, 300 mg/kg/day)	
	死亡	予備試験 (600 : 3/5♂1/5♀)	
	NOEL	30 mg/kg/day 未満	
推定根拠	FOB (自発運動低下 : 30 以上♀100 以上♂)		

他の毒性	<p>一般状態（よろめき歩行：300♀♂、後肢の反転：300♀）          FOB（歩行失調・筋緊張の低下：300♀♂、握力（前肢）↓：300♂）          体重↓：100以上♀300♂          血液学的検査（Hct↓：300♀♂）          血液生化学的所見（TG↑：300♀）          剖検所見（膀胱－内腔拡張：300♀♂）          組織学的所見（小脳－小脳脚における軸索膨化、坐骨神経－神経線維の変性：300♀♂）          回復期：握力↓（後肢）：300♂♀、開脚幅低値：300♂、精巣－ステージIX, Xにおけるステップ19精子細胞のretention：300♂</p>
回復性	<p>体重↓、よろめき歩行、後肢の反転、歩行失調、筋緊張、自発運動低下、小脳－小脳脚における軸索膨化、坐骨神経－神経線維の変性</p>
人健康影響判定根拠	<p>Ames 試験及び染色体異常試験は陰性であるが、NOEL 30mg/kg/day 未満であり神経行動学的毒性と思われる重要な毒性学的所見が認められ、かつ、回復性も悪いことから第二種監視化学物質相当。</p>
備考	

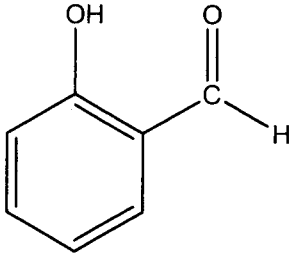
既存化学物質審査シート

官報公示 整理番号	2-608	CAS No.	88-09-5
判定案	人健康影響 第二種監視化学物質相当		
名称 構造式等	<p>名称：2-エチル酪酸 分子量：116.16 分子式：C<sub>6</sub>H<sub>12</sub>O<sub>2</sub></p> $  \begin{array}{c}  \text{CH}_2\text{CH}_3 \\    \\  \text{CH}_3\text{CH}_2-\text{CH} \\    \\  \text{C}=\text{O} \\    \\  \text{HO}  \end{array}  $		
用途	2-608 として中間物、溶剤、プロセス調節剤、着色剤、工業用洗浄剤、家庭等洗浄剤、塗料用、着香・脱臭剤、繊維剤、樹脂添加剤、ゴム添加剤、潤滑・研削油、燃料等、その他 ※1		
製造及び 輸入数量	2-608 として 100,000～1,000,000 t 未満※1		
外観	無色液体		
分解性	良分解性		
蓄積性	-		
Ames	<p>陰性 純度 99.2%。溶媒 (DMSO-溶解). TA98, TA100, TA1535, TA1537, WP2 uvrA. 5000 μg/plate まで実施した用量設定試験の結果を参考に以下の濃度まで実施. (本試験 I) - S9mix 群 : 5000 μg/plate + S9mix 群 : 5000 μg/plate (TA98, TA100, TA1535, TA1537: 最高用量で菌の生育阻害) (WP2uvrA) (本試験 II) - S9mix 群 : 5000 μg/plate + S9mix 群 : 5000 μg/plate (TA98, TA100, TA1535, TA1537: 最高用量で菌の生育阻害) (WP2uvrA)</p>		
染色体 異常	<p>陽性 D20 値=1.06mg/ml (24 時間処理群 : 構造異常) 24 時間処理群において構造異常の誘発. 純度 99.2%。溶媒 (DMSO-溶解). CHL/IU. 4.0mg/ml まで実施した細胞増殖抑制試験の結果を参考に、以下の濃度まで実施. - S9mix 群 : 1.6mg/mL + S9mix 群 : 1.6mg/mL (細胞毒性のため 0.8mg/mL まで観察) 24 時間処理群 : 1.6mg/mL (細胞毒性のため 1.6mg/mL は半分の観察細胞数で観察) ※細胞増殖抑制試験に先立ち、4.5mg/mL (溶媒 : DMSO) 及び 5.0mg/mL (溶媒 : アセトン) まで予備試験を実施。</p>		
反復投与 毒性・生 殖発生毒 性併合試 験	動物種・系統	ラット Crj:CD(SD)IGS	
	投与方法	溶媒 : コーン油. 強制経口投与.	
	純度	99.2%.	
	用量	3 投与群 (10, 50, 250mg/kg).	
	死亡	予備試験 (瀕死 1000 : 1/5♂ [呼吸異常]) 本試験 (対照群 : 1/13 [分娩中難産のため])	



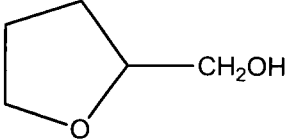
	NOEL	反復投与毒性：10 mg/kg/day 生殖発生毒性：10 mg/kg/day
	推定根拠	反復投与毒性： 血液学的検査（WBC↓：50以上♂） 生殖発生毒性： 分娩状態異常：50以上♀
	他の毒性	反復投与毒性： 血液学的検査（plt↓：250♂） 絶対重量（腎↑：250♀） 相対重量（腎↑：250♀♂） 生殖発生毒性： 生児出産率↓・出生率↓・生存児数（哺育0日及び4日）↓：250
	回復性	実施せず
人健康影 響判定根 拠	Ames 試験は陰性であるが染色体異常試験は陽性であり、NOEL 10mg/kg/day であるこ とから第二種監視化学物質相当。	
備考	※1 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査（平成19年実績）	

既存化学物質審査シート

官報公示 整理番号	3-1183	CAS No.	90-02-8
判定案	人健康影響 第二種監視化学物質相当		
名称 構造式等	名称：2-ヒドロキシベンズアルデヒド 分子量：122.12 分子式：C <sub>7</sub> H <sub>6</sub> O <sub>2</sub>		
			
用途	3-1183 として中間物 <sup>*1</sup>		
製造及び 輸入数量	3-1183 として 1,000~100,000 t 未満 <sup>*1</sup>		
外観	淡黄色液体		
分解性	良分解性		
蓄積性	-		
Ames	陰性 純度≥95%. 溶媒 (DMSO-溶解). プレート法. TA98, TA100, TA1535, TA1537, WP2 uvrA. 5000 μg/plate まで実施した用量設定試験の結果を参考に、以下の濃度まで実施. (本試験 I) -S9mix 群：500 μg/plate (TA100：最高用量で菌の生育阻害) 1000 μg/plate (TA1537：500 μg/plate 以上で菌の生育阻害) (TA98, TA1535：最高用量で菌の生育阻害) 4000 μg/plate (WP2uvrA：最高用量で菌の生育阻害) +S9mix 群：500 μg/plate (TA100：最高用量で菌の生育阻害) 2000 μg/plate (TA98, TA1535, TA1537：最高用量で菌の生育阻害) 4000 μg/plate (WP2uvrA：最高用量で菌の生育阻害) (本試験 II) -S9mix 群：500 μg/plate (TA100：最高用量で菌の生育阻害) 1000 μg/plate (TA98, TA1535, TA1537：最高用量で菌の生育阻害) 4000 μg/plate (WP2uvrA：最高用量で菌の生育阻害) +S9mix 群：500 μg/plate (TA100：最高用量で菌の生育阻害) 2000 μg/plate (TA1535：1000 μg/plate 以上で菌の生育阻害) (TA98, TA1537：最高用量で菌の生育阻害) 4000 μg/plate (WP2uvrA：最高用量で菌の生育阻害)		

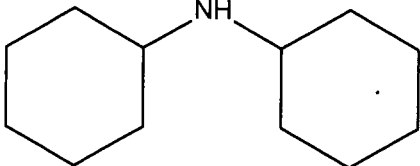
染色体異常	陽性 D20 値=0.025mg/ml (+S9mix 群：数的異常) ±S9mix 群及び 24 時間処理群において構造異常の誘発、+S9mix 群及び 48 時間処理群において数的異常の誘発。 純度≥95.0%。溶媒 (DMSO-溶解)。CHL/IU。 1.2mg/ml (10mM) まで実施した細胞増殖抑制試験の結果を参考に、以下の濃度まで実施。 -S9mix 群：0.2mg/mL (50%以上細胞増殖抑制濃度) +S9mix 群：0.2mg/mL (50%以上細胞増殖抑制濃度) 24 時間処理群：0.02mg/mL (50%以上細胞増殖抑制濃度) 48 時間処理群：0.02mg/mL (50%以上細胞増殖抑制濃度)	
反復投与 毒性・生殖発生 毒性併合試験	動物種・系統	ラット Crj:CD(SD)
	投与方法	溶媒：オリーブ油。強制経口投与。
	純度	99.3%。
	用量	4 投与群 (2.5, 10, 40, 160mg/kg)。
	死亡	予備試験 (200 : 1/5♂2/5♀、400 : 5/5♂4/5♀) 本試験 (40 : 1/12♀、160 : 1/12♀)
	NOEL	反復投与毒性：10 mg/kg/day 生殖発生毒性：40 mg/kg/day
	推定根拠	反復投与毒性： 組織学的所見 (肝-細胞内グリコーゲン量↑：40 以上♀、肝-小葉周辺脂肪化減少：40 以上♂) 生殖発生毒性： 哺育 4 日までの全児死亡：160♀ 新生児生存率↓：160 低体重 (哺育 0 日)、体重増加抑制 (哺育 4 日)：160
他の毒性	反復投与毒性： 血液学的検査 (PT↑：160♂) 血液生化学的所見 (A/G↑・Alb↑：160♂) 相対重量 (肝臓↑・卵巣↓：160♀) 絶対重量 (肝臓↑・卵巣↓：160♀) 生殖発生毒性： —	
回復性	実施せず	
人健康影響判定根拠	Ames 試験は陰性であるが染色体異常試験は陽性であり、NOEL 10mg/kg/day であることから第二種監視化学物質相当。	
備考	※1 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査 (平成 19 年実績)	

既存化学物質審査シート

官報公示 整理番号	5-56	CAS No.	97-99-4
判定案	人健康影響 第二種監視化学物質相当		
名称 構造式等	名称：テトラヒドロフルフリルアルコール 分子量：102.13 分子式：C <sub>5</sub> H <sub>10</sub> O <sub>2</sub>		
			
用途	5-56 として工業用洗浄剤、塗料用、樹脂添加剤 <sup>*1</sup>		
製造及び 輸入数量	5-56 として 1,000～100,000 t 未満 <sup>*1</sup>		
外観	無色液体		
分解性	良分解性		
蓄積性	-		
Ames	陰性 純度 99.5%。溶媒（注射用水－溶解）。 TA98, TA100, TA1535, TA1537, WP2 uvrA/pKM101. 5000 μg/plate まで実施した用量設定試験の結果を参考に、以下の濃度まで実施。 （本試験Ⅰ） -S9mix 群：5000 μg/plate +S9mix 群：5000 μg/plate （本試験Ⅱ） -S9mix 群：5000 μg/plate +S9mix 群：5000 μg/plate		
染色体 異常	陰性 純度 99.5%。溶媒（生理食塩液－溶解）。CHL/IU。 1.03mg/ml (10mM) まで実施した細胞増殖抑制試験の結果を参考に、以下の濃度まで実施。 -S9mix 群：1.03mg/mL (10mM) +S9mix 群：1.03mg/mL (10mM) 24 時間処理群：1.03mg/mL (10mM)		
28 日間 反復投与 毒性試験	動物種・系統	ラット Crj:CD(SD)IGS	
	投与方法	強制経口投与 溶媒：局方精製水	
	純度	99.5 %	
	用量	4 投与群 (10, 40, 150, 600 mg/kg/day)	
	死亡	なし	
	NOEL	40 mg/kg/day	
	推定根拠	一般状態（自発運動亢進：150 以上♀600♂） 血液生化学的検査（TP↓：150 以上♂600♀） 相対重量（下垂体↓：150 以上♀） 組織学的所見（精巣－精上皮細胞壊死・脾－赤脾髄萎縮・皮膜炎症：150 以上♂）	


	他の毒性	<p>体重↓：600♂、摂餌量↓：600♂          一般状態（自発運動低下・腹臥姿勢：600♂♀）          FOB（後肢握力↓：600♂）          尿検査（pH↓：600♂）          血液学的検査（WBC↓・Plt↓・PT↑・MCH↓・MCHC↓：600♂♀）          血液生化学的検査（Alb ↓・Ca ↓：600♂♀、TG ↓・BUN ↑・Na ↓：600♂）          絶対重量（胸腺↓・下垂体↓：600♂♀）          相対重量（胸腺↓：600♂♀、腎↑：600♀）          組織学的所見（胸腺－萎縮：600♂♀）          精巣－精子形成サイクル検査（精子細胞/セルトリ細胞↓：600 [ステージII-III・V・XII]）</p>
	回復性	<p>TP ↓、BUN ↑、Ca ↓、胸腺 ↓、精巣－精上皮細胞壊死、精巣－精子形成サイクル検査（パテキン期精母細胞・精子細胞/セルトリ細胞↓：600 [ステージII-III・V]）</p>
人健康影響判定根拠	<p>Ames 試験及び染色体異常試験は陰性であるが、NOEL 40mg/kg/day であり神経行動学的所見及び毒性学的に重要な変化が認められることから第二種監視化学物質相当。</p>	
備考	<p>※1 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査（平成19年実績）</p>	

既存化学物質審査シート

官報公示 整理番号	3-2259	CAS No.	101-83-7
判定案	人健康影響 第二種監視化学物質相当		
名称 構造式等	<p>名称：ジシクロヘキシルアミン 分子量：181.31 分子式：C<sub>12</sub>H<sub>23</sub>N</p> 		
用途	3-2259 として中間物、プロセス調節剤、ゴム添加剤、潤滑・研削油、水処理剤、その他 ※1		
製造及び 輸入数量	3-2259 として 10,000~100,000 未満※1		
外観	無色液体		
分解性	良分解性		
蓄積性	-		
Ames	<p>陰性 純度 99.63%. 溶媒 (アセトン-溶解). プレート法 (-S9mix 群のみ). TA98, TA100, TA1535, TA1537, WP2 uvrA. 5000 μg/plate まで実施した用量設定試験の結果を参考に、以下の濃度まで実施. (本試験) -S9mix 群 : 2500 μg/plate (最高用量で菌の生育阻害) +S9mix 群 : 2500 μg/plate (最高用量で菌の生育阻害) (確認試験) -S9mix 群 : 2500 μg/plate (1500 μg/plate 以上で菌の生育阻害)</p>		
染色体 異常	<p>陽性 D20=0.96mg/mL (+S9mix 群 : 構造異常) ±S9mix 群において、構造異常の誘発. 純度 99.63%. 溶媒 (アセトン-溶解). CHL/IU. 1.4mg/ml まで実施した細胞増殖抑制試験の結果を参考に、以下の濃度まで実施. -S9mix 群 : 1.0mg/mL (細胞毒性のため 0.6mg/mL 観察) +S9mix 群 : 1.0mg/mL (50%以上細胞増殖抑制濃度) 24 時間処理群 : 0.5mg/mL (50%以上細胞増殖抑制濃度) 48 時間処理群 : 0.5mg/mL (細胞毒性のため 0.3mg/ml まで観察)</p>		
28 日間 反復投与 毒性試験	動物種・系統	ラット Crj:CD(SD)	
	投与方法	強制経口投与 溶媒 : コーン油	
	純度	99.63%	
	用量	3 投与群 (20, 70, 200 mg/kg/day)	
	死亡	予備試験 (250 : 4/5♂, 500 : 5/5♂) 本試験 (対照群 : 1/13♂, 200 : 8/13♂8/13♀)	
	NOEL	20 mg/kg/day	
推定根拠	<p>一般状態 (流涎 : 70 以上♂♀、痙攣 : 70 以上♂200♀) 血液学的検査 (Pi↑ : 70 以上♀200♂、Ca↑ : 70 以上♀) 絶対重量 (卵巣↓ : 70 以上♀)</p>		

	他の毒性	体重↓：200♂♀、摂餌量↓：200♂ 一般状態（姿勢異常・自発運動低下・異常発声・呼吸異常・被毛の汚れ・散瞳：200♂♀、立毛：200♀） 血液学的検査（WBC↑：200♀） 血液学的検査（ALP↑：200♀） 絶対重量（副腎↑：200♂♀） 相対重量（副腎↑：200♂♀、卵巢↓：200♀）
	回復性	Pi↑、肝↓
人健康影響判定根拠	Ames 試験は陰性であるが染色体異常試験は陽性であり、NOEL 20mg/kg/day であることから第二種監視化学物質相当。	
備考	※1 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査（平成19年実績）	

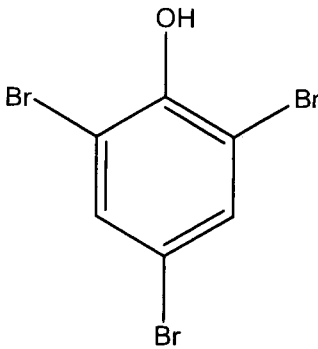
既存化学物質審査シート

官報公示 整理番号	2-235	CAS No.	110-63-4
判定案	人健康影響 第二種監視化学物質相当		
名称 構造式等	名称：1,4-ブタンジオール 分子量：90.12 分子式：C <sub>4</sub> H <sub>10</sub> O <sub>2</sub> 		
用途	2-235 として中間物、溶剤、塗料用、接着剤用、樹脂添加剤 <sup>*1</sup>		
製造及び 輸入数量	2-235 として 100,000～1,000,000 t 未満 <sup>*1</sup>		
外観	無色透明液体		
分解性	良分解性		
蓄積性	-		
Ames	陰性 純度 99.8%. 溶媒 (注射用水-溶解). TA98, TA100, TA1535, TA1537, WP2 uvrA. 5000 μg/plate まで実施した用量設定試験の結果を参考に、以下の濃度まで実施. (本試験 I) - S9mix 群 : 5000 μg/plate + S9mix 群 : 5000 μg/plate (本試験 II) - S9mix 群 : 5000 μg/plate + S9mix 群 : 5000 μg/plate		
染色体 異常	陰性 純度 99.8%. 溶媒 (注射用水-溶解). CHL/IU. 0.90mg/ml(10mM)まで実施した細胞増殖抑制試験の結果を参考に、以下の濃度まで実施. - S9mix 群 : 0.90mg/mL (10mM) + S9mix 群 : 0.90mg/mL (10mM) 24 時間処理群 : 0.90mg/mL (10mM) 48 時間処理群 : 0.90mg/mL (10mM)		
反復投与 毒性・生 殖発生毒 性併合試 験	動物種・系統	ラット Crj:CD(SD)	
	投与方法	強制経口投与 溶媒：局方注射用水	
	純度	98.0%	
	用量	3 投与群 (200, 400, 800 mg/kg/day)	
	死亡	なし	
	NOEL	反復投与毒性：200 mg/kg/day 未満 生殖発生毒性：400 mg/kg/day	
推定根拠	反復投与毒性： 一般状態 (活動性の増加：200 以上♂♀) 血液生化学的検査 (Glu ↓：200 以上♂) 尿検査 (血色素：200 以上♂♀) 生殖発生毒性： 新生児体重 [哺育 4 日] ↓：800♂♀		



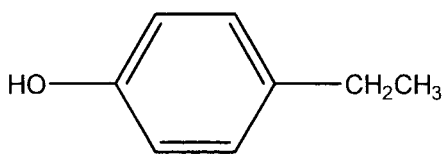
	他の毒性	反復投与毒性： 体重↓：400以上♀800♂、摂餌量↓：400以上♂♀ 一般状態（活動性の低下・腹臥位：400以上♂♀、昏睡・眼球突出・流涎： 800♂♀） 血液学的検査（Hgb↓：400以上♂、Hct↓：800♂） 病理組織学的検査（膀胱－びまん性粘膜上皮過形成・粘膜固有層の線維化： 400以上♀♂、胸腺－萎縮・出血：400以上♀、脾臓－ うっ血：400以上♀800♂） 生殖発生毒性： －			
	回復性	実施せず			
人健康影響判定根拠	Ames試験は陰性であるが染色体異常試験は陰性であるが、NOEL 200mg/kg/day未満であり神経行動毒性と思われる毒性学的に重要な所見が認められることから第二種監視化学物質相当。				
環境調査※2	媒体	実施年度	検体	検出範囲	検出下限値
	水質	S61	0/24	－	(2) μg/L
	底質	S61	0/24	－	(0.09) μg/g-dry
	魚類				
	大気				
その他					
備考	※1 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査（平成19年実績） ※2 S62年版「化学物質と環境」（環境省環境保健部環境安全課）				

既存化学物質審査シート

官報公示 整理番号	3-959	CAS No.	118-79-6
判定案	人健康影響 第二種監視化学物質相当		
名称 構造式等	<p>名称：2,4,6-トリブロモフェノール 分子量：330.82 分子式：C<sub>6</sub>H<sub>3</sub>OBr<sub>3</sub></p> 		
用途	3-959 として中間物、樹脂添加剤 <sup>*1</sup>		
製造及び 輸入数量	3-959 として 10,000～100,000 t 未満 <sup>*1</sup>		
外観	白色粉末		
分解性	良分解性		
蓄積性	-		
Ames	<p>陰性 純度 99.8%. 溶媒 (DMSO-溶解). TA98, TA100, TA1535, TA1537, WP2 uvrA. 5000 μg/plate まで実施した用量設定試験の結果を参考に、以下の濃度まで実施. (本試験 I) -S9mix 群：500 μg/plate (TA98, TA100, TA1535：最高用量で菌の生育阻害) 1000 μg/plate (TA1537：500 μg/plate 以上で菌の生育阻害) 5000 μg/plate (WP2uvrA：2500 μg/plate 以上で菌の生育阻害) +S9mix 群：500 μg/plate (TA100, TA1535, TA1537：最高用量で菌の生育阻害) 1000 μg/plate (TA98：最高用量で菌の生育阻害) 5000 μg/plate (WP2uvrA：2500 μg/plate 以上で菌の生育阻害) (本試験 II) -S9mix 群：500 μg/plate (TA98, TA100, TA1535：最高用量で菌の生育阻害) 1000 μg/plate (TA1537：500 μg/plate 以上で菌の生育阻害) 5000 μg/plate (WP2uvrA：2500 μg/plate 以上で菌の生育阻害) +S9mix 群：500 μg/plate (TA100, TA1535, TA1537：最高用量で菌の生育阻害) 1000 μg/plate (TA98：最高用量で菌の生育阻害) 5000 μg/plate (WP2uvrA：2500 μg/plate 以上で菌の生育阻害)</p>		
染色体 異常	<p>陽性 D20 値=0.10mg/mL (±S9mix 群：構造異常) ±S9mix 群で構造異常の誘発. 純度 99.8%. 溶媒 (DMSO-溶解). CHL/IU. 3.3mg/ml(10mM)まで実施した細胞増殖抑制試験の結果を参考に、以下の濃度まで実施. -S9mix 群：0.050mg/mL (50%以上細胞増殖抑制濃度) +S9mix 群：0.10mg/mL (50%以上細胞増殖抑制濃度) 24 時間処理群：0.10mg/mL (50%以上細胞増殖抑制濃度) 48 時間処理群：0.050mg/mL (50%以上細胞増殖抑制濃度)</p>		

反復投与 毒性・生 殖発生毒 性併合試 験	動物種・系統	ラット Crj:CD(SD)			
	投与方法	強制経口投与 溶媒：コーン油			
	純度	99.8%			
	用量	3投与群 (100, 300, 1000 mg/kg/day)			
	死亡	なし			
	NOEL	反復投与毒性：100 mg/kg/day 生殖発生毒性：300 mg/kg/day			
	推定根拠	反復投与毒性： 血液生化学的検査 (Cre ↑：300 以上♂) 組織学的所見 (腎-尿管好塩基性化：300 以上♂) 生殖発生毒性： 4日生存率↓・体重↓[哺育0日・哺育4日]：1000♂♀			
他の毒性	反復投与毒性： 体重↓：1000♂♀ 血液生化学的検査 (TP↑・Alb↑・A/G↑・ALP↑・K↓・Cl↑：1000♂) 絶対重量 (胸腺↓：1000♂、肝↑：1000♂♀) 相対重量 (肝↑・腎↑・副腎↑：1000♂♀) 病理組織学的検査 (胸腺-萎縮、肝-肝細胞肥大、腎-管腔拡張・硝子円柱・ 乳頭壊死・リンパ球浸潤：1000♂、肝-マクロファージ 集簇：1000♂♀)  生殖発生毒性： -				
回復性	実施せず				
人健康影 響判定根 拠	Ames 試験は陰性であるが染色体異常試験は陽性であり、NOEL 100mg/kg/day であるこ とから第二種監視化学物質相当。				
環境調査 ※2	媒体	実施年度	検体	検出範囲	検出下限値
	水質	H17	15/18	0.0019~0.080 μg/L	(0.00087) μg/L
		H8	0/33	-	(0.35) μg/L
		S61	0/33	-	(0.006) μg/L
	底質	H8	0/33	-	(0.009) μg/g-dry
		S61	2/33	0.0015~0.0040 μg/g-dry	(0.0005) μg/g-dry
魚類					
大気	H16	6/6	0.03~0.14 ng/m <sup>3</sup>	(0.02) ng/m <sup>3</sup>	
その他					
備考	※1 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査 (平成19年実績) ※2 S62、H9、H17、H18 年版「化学物質と環境」(環境省環境保健部環境安全課)				

既存化学物質審査シート

官報公示 整理番号	3-500	CAS No.	123-07-9
判定案	人健康影響 第二種監視化学物質相当		
名称 構造式等	<p>名称：4-エチルフェノール 分子量：122.16 分子式：C<sub>8</sub>H<sub>10</sub>O</p> 		
用途	3-500 として中間物、塗料用、樹脂添加剤 <sup>*1</sup>		
製造及び 輸入数量	3-500 として 1,000～10,000 t 未満 <sup>*1</sup>		
外観	白色結晶		
分解性	良分解性		
蓄積性	-		
Ames	<p>陰性 純度 98.328%。溶媒 (DMSO-溶解)。 TA98, TA100, TA1535, TA1537, WP2 uvrA。 5000 μg/plate まで実施した用量設定試験の結果を参考に、以下の濃度まで実施。 (本試験 I) -S9mix 群：2000 μg/plate (TA98, TA100, TA1535, TA1537 : 1000 μg/plate 以上で菌の生育阻害) (WP2uvrA：最高用量で菌の生育阻害) +S9mix 群：2000 μg/plate (最高用量で菌の生育阻害) (本試験 II) -S9mix 群：2000 μg/plate (TA98, TA100, TA1535, TA1537 : 1000 μg/plate 以上で菌の生育阻害) (WP2uvrA：最高用量で菌の生育阻害) +S9mix 群：2000 μg/plate (最高用量で菌の生育阻害)</p>		
染色体 異常	<p>陽性 D20 値=0.077mg/mL (24 時間処理群：構造異常) +S9mix 群及び 24 時間処理群において構造異常の誘発。 純度 98.328%。溶媒 (DMSO-溶解)。CHL/IU。 1.2mg/ml(10mM)まで実施した細胞増殖抑制試験の結果を参考に、以下の濃度まで実施。 -S9mix 群：0.80mg/mL (細胞毒性のため 0.20mg/mL まで観察) +S9mix 群：0.30mg/mL (細胞毒性のため 0.075mg/mL まで観察) 24 時間処理群：0.30mg/mL (細胞毒性のため 0.075mg/mL まで観察)</p>		
28 日間 反復投与 毒性試験	動物種・系統	ラット Crj:CD(SD)IGS	
	投与方法	強制経口投与 溶媒：オリーブ油	
	純度	98.3%	
	用量	3 投与群 (100, 300, 1000 mg/kg/day)	
	死亡	予備試験 (1000 : 1/5 ♀、2000 : 5/5 ♂/5/5 ♀)	
	NOEL	100 mg/kg/day	
	推定根拠	<p>相対重量 (肝 ↑ : 300 以上 ♂/1000 ♀) 組織学的所見 (前胃-境界縁扁平上皮過形成 : 300 以上 ♂、前胃-扁平上皮過形成 : 300 以上 ♂/1000 ♀)</p>	

他の毒性	体重↓：1000♂♀、摂餌量↓：1000♂♀ 一般状態（よろめき歩行・横臥・流涎：1000♂♀） 尿所見（尿量↑：1000♀） 血液生化学的検査（GPT↑：1000♂、 $\gamma$ -GTP↑・cho↑：1000♀） 相対重量（腎↑：1000♂） 組織学的検査（食道－扁平上皮過形成、前胃－潰瘍・粘膜下織肉芽形成、腺胃－びらん：1000♀、前胃－境界縁びらん：1000♂、前胃－扁平上皮変性・粘膜下織水腫：1000♂♀）				
回復性	体重↓				
人健康影響判定根拠	Ames 試験は陰性であるが染色体異常試験は陽性であり、NOEL 100mg/kg/day であることから第二種監視化学物質相当。				
環境調査 ※2	媒体	実施年度	検体	検出範囲	検出下限値
	水質	S58	0/33	-	(0.06~0.3) $\mu$ g/L
	底質	S58	0/33	-	(0.001~0.02) $\mu$ g/g-dry
	魚類				
	その他				
備考	※1 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査（平成19年実績） ※2 S59年版「化学物質と環境」（環境省環境保健部環境安全課）				